

<報道発表資料>

令和8年1月21日
京都市文化市民局市民スポーツ振興室

スポーツ施設に係るネーミングライツ契約候補事業者の選定

京都市体育館及び西京極総合運動公園プール兼アイススケートリンク(京都アクアリーナ)

京都市体育館及び西京極総合運動公園プール兼アイススケートリンク（京都アクアリーナ）（以下「京都アクアリーナ」という。）について、京都市ネーミングライツ審査委員会の審査によりネーミングライツ契約候補事業者を選定しました。

1 京都市体育館の公募結果

(1) 応募者数

1事業者

(2) 契約候補事業者

日新電機株式会社

設立	大正6年4月
所在地	京都市右京区梅津高畠町47番地
資本金	102億5,284万円
事業内容	電気機械器具の製造・販売、産業用機械器具並びに装置の製造・販売等

(3) 応募（提案）内容

ア 命名する通称

「にっしんでんきアリーナ京都」

イ 価格

年間2,000万円（税込）

ウ スポーツ、地域等への貢献

(ア) スポーツへの貢献について、本社敷地内に整備された体育館の地域住民への無償開放や剣道部による「ちびっこ剣道教室」の開催など、地域社会に開かれた施設運営を実施

また、2005年から京都サンガF.C.、2024年からは京都ハンナリーズといった京都に本拠地を置くプロスポーツにスポンサーとして協賛をされている。

(イ) 地域等への貢献について、障がい者雇用の促進、技術系人材の育成、歴史的文化財の保護や地域の環境保全活動への協力、新型コロナウイルス感染症対策として

の寄付など多くの社会貢献活動を実施

2 京都アクアリーナの公募結果

(1) 応募者数

1 事業者

(2) 契約候補事業者

株式会社大興設備開発

設立	昭和 49 年 3 月
所在地	京都市右京区花園扇野町 37 番地
資本金	4,400 万円
事業内容	総合建物管理・設備工事業

(3) 応募（提案）内容

ア 命名する通称

「大興設備開発 京都アクアリーナ」

イ 価格

年間 550 万円（税込）

ウ スポーツ、地域等への貢献

- (ア) スポーツへの貢献について、2025 年度から京都をホームタウンとする京都サンガ F.C. のプラチナスポンサーをされており、2026 年度も協賛を継続される予定
- (イ) 地域等への貢献について、2024 年 3 月に京都府内の小学校、支援学校 91 校に計 28,900 枚の集金袋を寄贈。また、翌年の 2025 年 3 月に京都府内の小学校、支援学校 88 校に 29,549 個の消しゴムを寄贈

3 審査の結果

(1) 京都市ネーミングライツ審査委員会での主な意見

ア 日新電機株式会社（対象施設：京都市体育館）

・「にっしんでんきアリーナ京都」という通称は、分かりやすく親しみやすい通称であると評価できる。

・ネーミングライツを実施するのに十分な経営状況であると評価できる。

・京都市のスポーツ施策に対する貢献に加えて、その他の京都市の施策に対する社会貢献・地域貢献度も非常に高く、評価できる。これまで以上に地域に貢献されることを期待する。

イ 株式会社大興設備開発（対象施設：京都アクアリーナ）

・「大興設備開発 京都アクアリーナ」という通称は、社名が入っており問題ないが、利用者等にとって少し長く、固い印象を持たれ、通称が浸透しづらくなる可能性も

ある。可能であれば、より親しみやすい名称を御検討いただきたい。

- ・ネーミングライツを実施できる安定的な経営状況であると考えられる。
- ・京都市の中小企業として、スポーツ施策や地域に対しても貢献されている。今後も、地域に根差した取組を展開していただくことを期待する。

(2) 点数

対象施設	事業者	評価
京都市体育館	日新電機株式会社	481点／500点
京都アクアリーナ	株式会社大興設備開発	369点／500点

※ 募集要項において、配点合計（500点）の6割以上の得点となった応募者の中から最も高い得点となった応募者を契約候補事業者として選定することとしている。

4 今後の予定

契約事業者の特典である施設通称看板の掲出場所等について契約候補事業者と協議したうえで契約を締結し、令和8年4月から通称の使用を開始予定

<お問合せ先>

京都市文化市民局市民スポーツ振興室

電話：075-222-3135

(参考)

1 募集概要

●通称

スポーツ施設の通称として誰もが理解できるものとし、「京都」などの所在地を表す地名を含む通称とすること。ただし、京都アクアリーナについては、「京都アクアリーナ」の愛称を含む通称とすること。

●予定価格（ネーミングライツ契約料）

京都市体育館 年間 17,000 千円（税込）以上

京都アクアリーナ 年間 5,500 千円（税込）以上

●契約期間

3年間

●応募受付期間

令和7年11月6日（木）から同年12月12日（金）まで

2 京都市ネーミングライツ審査委員会委員

（敬称略）

氏名	区分	職名等
佐藤 陽子	委員長	公認会計士
舟越 一郎	委員	京都市立芸術大学美術学部教授
藤野 正弘	委員	市民公募委員
武田 淳	特別委員	公益財団法人京都市スポーツ協会専務理事
長積 仁	特別委員	立命館大学スポーツ健康科学部教授
廣田 敬二	特別委員	西京極総合運動公園連絡協議会会长

※特別委員は、対象案件ごとに委嘱

※審査委員会には委員6名中5名が出席（「京都市ネーミングライツ審査委員会規則」

第3条第3項により、委員及び特別委員の過半数の出席が開催条件となっている。）